

photo:K.Kazama



- 形式：3ウェイ5スピーカー、バスレフ型 ●使用ユニット：[W]175mm×3[M]140mm[T]25mm ●出力音圧レベル：91dB ●推奨アンプ出力：50~300W ●周波数特性：20Hz~22kHz ●インピーダンス：4Ω ●入力端子：バナナプラグ対応 ●大きさ：190W×1085H×400Dmm ●重さ：32.5kg ●問い合わせ先：CEC ☎050(5509)0795

【プロフィール】従来のクラシックラインがアップグレードされてコンサートグランド・クラシックラインに生まれ変わった。本機は中型フロアタイプのT3の後継モデル。トゥイターはシルクダイヤフラムのソフトドーム型。ミッドレンジとウーファーはT3では2本ずつ搭載していたが、本機はミッドレンジが1本、ウーファーが3本になっている。ともに同社オリジナルのポリプロピレンをベースにした透明なダイヤフラムで、ミッドレンジにX3Pコーン、ウーファーにXPPスパイダーコーンが使われている。ウーファーのスパイダーコーンは剛性の低下を防ぐためにコーン全体に蜘蛛の巣状の強化リブを施し、XPPコーンの持つ癖のない音質などの特徴を保ちながら大口径化を果たしている。スペック上は3ウェイとなっているが、上側の2本と下側の1本では受け持ち帯域を変えているようだ。幅が狭く奥行き方向に長いキャビネットを安定させ、音質を向上させるアルミダイキャストベースには大型スパイクが用意されている。

●遠藤

【同価格帯の特選モデル】

- ☆FC5000 (TAOC) ¥577,500[03-12月号掲載] ☆Cremona (SONUS FABER) ¥1,197,000pair [02-05月号掲載] ☆SX-L9 (ビクター) ¥630,000 [03-12月号掲載] ☆Special 25 (DYNAUDIO) ¥639,450 [03-02月号掲載] ☆Note9 (ALR/JORDAN) ¥1,312,500pair [04-04月号掲載] ☆ケンジントン/HE (タンノイ) ¥682,500 [03-04月号掲載]

■貝山 ★★★★★

前作の美点を継承しつつ、さらにサウンドを磨き上げた優秀モデルである。ウーファー、スクーカーの構成を変えたことで、中低域から低域にかけての量感、力感が増し、響きが豊かになった。さらにウェルバランスが得やすいモデルに仕上がっている。チェロやバリトンの響きが充実し、バイオリンの音も細みにならず、しなやかさが増している。中・高域のなめらかな質感はさらに磨きがかかり、弦楽器の倍音がえもいわれぬ美しさで表出される。がっちりとした脚部を設けたことで、低域の分解能と切れ込みが向上し、物理的にも安定したことも特筆している。価格的には中級のモデルだが、充実した音楽表現では高級機と拮抗する。

■藤岡 ★★★★★

日本に導入されたモデルは最近では少なくなったローズウッド仕上げの製品。内容積を奥行き方向にとった形態。ウーファーは3個使用で最下部のそれはスーパーウーファー的で他の2個とスタガード動作されているようだ。ふくいくとしたいい音だ。もともとウィーンアコースティックの製品は音質・音調に下世話さがなくスムーズさがポイントなのだが、本機も例外ではなくクラシックソースにおいても安らぎが感じられ、直前でのリスニングでも疲労感がない。音場や定位は良好。SACD再生でも充分な帯域をカバー。穏やかさとなめらかさがあり上質である。ただ、前面グリルの着脱での変化が大きい。取り去った方がオーディオ的にはストレート&リアルになる。

■山之内 ★★★★★

演奏の強弱の幅が広く、ピアノでもフォルテでも表情の変化を聴き取りやすい。音色はしなやかで柔らかいが、音楽は生きいきとして生命力があり、力強さも前作以上にそなえている。低音の量感とは骨太な押し強さではなく、切れのいい上質な存在感に特徴があり、たとえばチェンバロの最低音など、深く透明な響きが伸びやかに広がってたいへん美しい。この特質を完全に引き出すためにも、付属ベースとスパイクを活用して、しっかりしたセッティングを心がけたい。ソプラノはゆったり広がるオーケストラとの溶け合いが自然で、声のイメージは立体的な厚みがある。女性ボーカルにも温かみと深みがあって、ベースやピアノとのハーモニーが美しい。